



2013/11 No.29 会報

ADOBA [愛工デザイン科同窓会]

〒462-0052 名古屋市北区福德町広瀬島350-4
愛知県立愛知工業高等学校デザイン科内
TEL 052-911-4421 FAX 052-915-1272
http://www.aichi-th.aichi-c.ed.jp/
E-mail: design@aichi-th.aichi-c.ed.jp

■『アドバの活動を盛り上げよう、年会費を！』

アドバ会長 勝崎 芳雄 [S36]



平素はアドバ会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと拝察申し上げます。

東北の大震災からすでに3年になろうとしていますが、復興はあまり進んでいません。2020年東京オリンピックが

決まり、世界に向け安全・安心できるに東京・日本を安倍首相は宣言しました。日本国民の総合力で、日本の素晴らしさをアピールできるチャンスが来ました。

アドバの皆様はすでにご存知かもしれませんが、愛知工業高等学校と東山工業高等学校の統合学校は“愛知県立愛知総合工科高等学校”の名称で、平成27年4月開校が決まりました。愛工会の人たちの想い、学校は変わっても“愛工高”の略称は残したいという希望もかなえられました。統合後の同窓会のあり方はまだ決まっていますが、現在の愛工会の役員会では、愛工会は存続していきたいとの意向です。

アドバにおいては、最近になって皆様のお骨折りによって、若い世代(30~40代)が繋がりをもち、アドバとしての活動を盛り上げようとグループ活動も行われてきています。

この度、“愛工デザイン科”を媒体に幅広い交流を広め、デザインで生活のonもoffも豊かにする活動と発表の場を提供する。「on/off」展が若い人中心で企画・運営され、あいちトリエンナーレ2013のパートナーシップ事業にもなりました。

これは、これからのアドバの活動の一環として、プレイベントとして計画されたものです。準備期間が短く、企画に関してアドバ会報を通じて幅広く、会員の皆様への呼びかけも十分できませんでした。これらの活動を通じてアドバの存在意義を理解していただき、交流の場を広げていきたいと思えます。

これらの活動を行うためには、会費の納入してくれる会員を増やして、活動資金を増やさなければなりません。この機会に是非、年会費3000円の協力を、クラス会などの機会を捉えて呼びかけをして下さい。

今回のこの企画に関しても、会費のみでの運営はむずかしく、不足分の一部をアドバの大先輩、故小山太郎さん(S10年卒)がアドバの活動のために提供された『小山基金』より援助をいただくことを臨時理事会で了解され、活用することになりました。

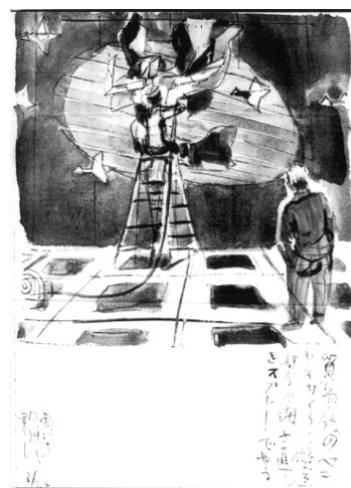
今後は会計予算額の増強により、色々な活動していきたいと思えますので、同級生のみならず、お知り合いのOBにも働きかけて下さい。

毎年、12月第3の土曜、日曜日にアドバの仲間と忘年会『ずばら会 in 日間賀島』を行っています。おいしいお

酒と新鮮なタコ・魚介類をたっぷりいただき、楽しい交流に花が咲きます。翌日は、大先輩の館「杉本美術館」や魚市場などを訪れています。皆さん！お誘いの上、多数お越し下さい。(参加希望の方は、各理事まで連絡して下さい)

■『杉本健吉大先輩の壁画』 西村 知弘 [旧職員]

アドバでは、遡ること15年前からアドバ有志でズボラ会を随時開催して12月には日間賀島で1泊するグルメ忘年会を行っている。昨年末も開催して、帰路に恒例の「杉本美術館」に立ち寄り大先輩の作品を鑑賞しました。以前より顔馴染みになっている鈴木威学芸員から、壁画作品についての相談を受けました。“杉本先生の日記の中に壁画制作のメモが見つかり、どうも？愛知県産業貿易会館内にあるらしい。会館は閉鎖されていて警備員が取り合ってくれない・・・”と言われて、日記のメモを見せて頂いた。



メモには「雨のち風強し寒し3月24日」とあり、イラスト脇に「貿易館のベニヤモザイク壁画部分の調子直しをスプレーでやる」と添え書きがあり、作業を見守る杉本健吉先輩の後ろ姿が描かれていた。幸いにも西村は、会館西館内の県デザインセンター/中部デザイン協会の事務局をしている関係から、その所在を確認することを請け

負いました。事務局デスクの近くに、会館の設備管理を担当されている方に本件の相談を持ちかけました。愛知県産業貿易会館本館は昭和38年に開館し、現在は建屋の耐震基準関係から閉鎖状態にある。西館も数年を残して閉鎖になるタイミングでした。設備管理担当の方は比較的出入りが許されていたので、全館を調査して頂いた。すると、会館本館の1階ロビー南壁面に所在していることが判明。アルファベットのサインも確認でき、本庁の職員もビックリされていた。作品は合板パネルに木質モザイク状態で描かれていた。表面に塗装など色づけがされていたかも知れないが、塗装の痕跡は今や判読出来ませんでした。作品は、分割持ち出して展示出来る状態でした。早速に鈴木学芸員に、お越し頂き確認をして貰いました。

アドバとして、この事実を記録に残しておくように考

えて役員間で検討をしました。アドバ会員で社会人講師としてデザイン科で写真実習講座を担当して頂いた岩井勝[S48]さんに、条件としては最悪の撮影をお願いしました。多くの機材を持ち込みライティングなど試行錯誤して何とか判読出来るように成功し、データを杉本美術館にお届けすることが出来ました。

この建物が耐震補強されるのか、改築になるのかは決まっていない。解体などの方針が出た時点で、アドバに連絡が頂けるように依頼してあります。もし、取り壊されると消滅してしまうかも知れない・・・保存する方向で尽力したい！

■『同窓の絆』 村上 誠 [H11]

2012年10月29日に平成11年度卒業生で同窓会を開きました。4年ぶりの同窓会に集まったのは20人、クラスの約半分でした。

さて問題です！あなたはこれを・・・

A：多いと思う

B：少ないと思う

答えは・・・

C：開けるだけマシ！

Cなんて選択肢なかったじゃないかって？

そういう常識にとらわれない発想の中から革新的なデザインというモノは生まれるのだ！と生活指導の荷が下り、髭をはやしてちょっとダンディになった当日のスペシャルゲストの西村先生も言っていたような・・・いないような？話を戻せば、同窓会を開けると言うのは世間ではどうやら貴重な事らしい。

D：やらない、やったことがない

というのがメインストリームの回答。

少し臭い言い回しになってしまうけども、やっぱり高校3年間という青春時代を同じメンバーで過ごしたという絆は強い・・・

顔を合わせるのが十数年ぶりだって、顔を見て誰だっけ？なんてメンバーもいない。高校時代あまり接点のなかった者同士がまるで親友だったかのように語り合える。そんな、わだかまりや距離感もゼロの関係。だから凄く楽しかったし、アツという間だった。だから、もし、次があるならもっと多くの・・・いや、全員集まるといいなあと思う。だって、高校時代のクラスメイトと呼べる存在は、この40人以外にはどこにもいないのだから・・・。



■『作家活動』 川上 絵美 [H5]

今、高校一年生と中学二年生の子を持つ母です。パートに行きながら、作家活動をしています。愛工高卒業後、瀬戸の陶磁器メーカーに入社してノベルティーの開発デザインをしていました。

その頃にお世話になった型屋さん、窯屋さんの力をお借りして自分が作りたかったものを形にすることが出来ています。

作家活動を始めてから16年になります。やっと、自分で納得出来るものが出来るようになりました。想えば、ここまでたどり着くことが大変でした。色々作風を変

えてみたり、何度も素材を変えて同じものを作ってみたりなど試行錯誤しました。

趣味を仕事に変えたい！しかし、作りたいものが必ずしも売れる訳ではありません。でも売れないと次の作品の資金もなくなり、作りたいものと売れるものの差異を感じました。

最近自分が納得した作品がお客様にも評価を得ることが出来るようになり、それなりの収入に換えることに繋がりました。

これからもモノ作りが好きな私は、苦戦しながらも多くの人々に助けてもらい作家活動を続けて行きたいと思えます。

出展先は、ギャラリーくわみつ(広島県)、あとりえ工房カノン(瀬戸市)、招き猫まつり in 瀬戸、名古屋アートマートなどです。



■『モデラーズクラブ合同作品展』 松岡 正記 [S58]

2013年5月18日/19日にツインメッセ静岡で開催された作品展に参加しました。「モデラーズクラブ合同作品展」とは、プラモデル/ラジコン業界団体の見本市『静岡ホビーショー』会場で同時開催されるプラモデルや模型の愛好クラブの作品展です。静岡はスケールモデルのトップメーカーのタミヤをなど模型メーカーの発祥地で、ガンダムのプラモデルでおなじみのバンダイも生産工場を静岡に構えるなど模型の聖地とも言える場所です。行政側もホビーの街「世界の模型首都・静岡」としてPRしています。年一回、日本全国や海外からの模型ファンが集まり交流を深め、多くの模型作品が鑑賞出来るイベントが「モデラーズクラブ合同作品展」です。参加クラブも増え続け、今年の参加クラブは229クラブと世界最大級の模型展示会となっています。

私は愛知万博が開催された2005年より、毎年この会の会員として参加しています。参加当時は1/32スケールのカーモデルを使用して、昭和の郷愁をテーマにしたジオラマ作品で統一されていました。今は自由なテーマの作品を展示しています。模型の世界では戦車/戦闘機など軍事モノは人気がありますが、あえてそれを排除しています。日常の何気ない風景や思わず笑顔になるようなテーマ作品を展示するのがこの会の特長です。展示会場では、老若男女様々な方々が私たちのブースの前で立ち止まり作品を鑑賞して頂きました。

この展示会の様子と全展示作品は「サンニイ情景友の会」ブログで見頂けます。<http://ameblo.jp/32jyoukei/>

この合同作品展に参加して多数の同じ趣味の方と知り合いになれました。皆さんに共通するモノ作り好きは、職業としてもそれらが関わっている方が多いという事です。メンバー作品を見るたびに、自分の力不足を痛感して次への創作への刺激を受ける良い機会となっています。

「サンニイ情景友の会」は、この年一回の作品展が主な活動の場となっています。インターネットを通じて知り合った方々の会ですから地域性もありますので、会全体の意思統一が難しいなど会の存続課題はあります。

「モデラーズクラブ合同作品展」では20年以上の連続参加するクラブは表彰を受け、それが会のステータスともなります。あと10年ほど連続参加しないと達成できない目標ですが、会員の皆さんが渾身の作品を持ち寄り目標を達成できるように願っております。



■『フィギュアの造形』 安藤 康治 [H1]

なんとなく仕事も落ち着いてきたので新しいことを始めようと思い、フィギュアの造形を始めました。と言っても、粘土をこねて作るものではなく、巷で話題の3Dプリンターを利用した造形です。

フィギュアを作って、そういったイベントに出て、商業的な原型の仕事も少しするようになってきました。

多くの報道や特集ではまるで夢のような発明と言われている3Dプリンターですが、使ってみるとなかなかそうは行きません。「なんでもすぐ作れる！」という報道が非常に多いですが、実際にはPCでデザインされたものしか出力出来ません。

材料も現在は限定されているので出されたものも、なにかの”試作”か”フィギュアの原型”くらいにしか成り得ないのが現在の現実でしょうか。

今の機械を利用していると、必要に応じて必要な数をすぐに取り出せる夢の機会はずっとこないようにも思えます。逆に現在流通している量産品の凄さを感じます。

ただ、そんなことを言っても始まらないので今使えるものを今使って遊んでいます。

実際にやってみると、PC上で3Dデザインする以上にいろいろな障害や覚えるべきことがあります。

実際に3Dプリンターで出力されたマテリアルは好きな人がみれば段差も目立つし色を塗るのもかなり難儀な代物なので、しっかり研磨して複製して置き換えます。

複製可能な形状に分割すること、塗装サンプルを制作すること、イベントでのブース設営、そしてお客さんに直接手渡します。

初めてのことばかりでかなり刺激になりました。

塗装済み完成品を販売するわけではないので、誰かが手をかけて、塗装しておいておきたい、と思えるようなものを作るのはなかなか大変ですが、もう少し続けてみたいと思います。

商業的な原型製作もしているので、ひょっとしたらお読みの方が手に取った立体物に僕が作ったものも混ざっているかも知れません。

■『繋がる毎日』 水野 詩織 [H20]

私は今、「俳優」をしています。と言えば聞こえはいいけれども、大した実績はありません。まだまだ下手くそなひよっこ！

いままで踏んできた舞台は数知れず、俳優修業の真っ只中です。

演劇との出会いは高校生の時でした。卒業後は声の仕事がしたくて東京へ行った事もありましたが、今は落ち

着いて名古屋で演劇活動をしています。今年の夏は、所属劇団「演劇組織 KIMYO」にて名古屋/東京の二都市公演を果たしました。休む事なく色々な現場に入り再来年まで舞台の予定で埋まっているという、遣り甲斐のある忙しい日々を送っています。

スタッフワークは宣伝美術です。KIMYOの代表と「チームm」を名乗り、チラシやWEB・DVDなど様々なモノを制作しています。愛工高デザイン科で培った事は今でも生きていて、どこで何が必要とされるか判りません。人生訓として“何をしたら無駄な事は一つもない！”毎日が修業の場であり発表の場なんだと想い噛みしめながら、一步一步、前へ前へと進んでいます。

私は今、「俳優」をしています。



■『新校への伝承を望む気概！』 井上 茂 [S37]

平成27年からの新校発足の準備が成されている。星が丘の旧東山工高敷地に新校舎などが造成中である。新たな事象は時間の経緯と共に迎えられる。しかし、愛工高に培われてきた現在までの体育祭/文化祭を例にとると、意識して受け継いで貰わないと消滅？の危惧さえある・・・もし、新校の幹部の一言で終息しかねない現場であるならば、愛工会各科から強制力のある要望をすべきと考えます。新聞に掲載されるような、受け繋ぐに値する良いことは推進して行く環境を作る努力をして欲しい！アナログ的な軽視する扱いはするのではなく、気概を残し知ることによって学業に生かすデジタル傾向色の強い新校を目指そう！今年の体育祭でデザイン科が優勝出来たのは、女性陣の気概が素晴らしかった！その達成感は格別で、新校の在り方の一端を示したかも・・・

迫力満点!! 愛工体育祭で応援演技



10月5日、秋の爽やかな青空の下、県立愛知工業高校の体育祭が行われました。呼び物の応援演技では学ラン姿の生徒たちが、各科の伝統にのっとり一糸乱れぬ勇壮な応援演技を次々と披露。観客から喝采を浴びていました。

■アドバ会員の活躍 2013年

S53年卒	森下 光昭	森下光昭・太田康介二人展	10月30日(火)～11月4日(日)	ギャラリーCHIYODA (中区)
S29年卒	中村 郁夫	樹萌会展	11月6日(火)～11月11日(日)	名古屋市民ギャラリー栄 (中区)
S56年卒	加藤 浩之	沖縄NAHAマラソン大会	12月2日(日)	NAHAMARASONコース (那覇市)
S56年卒	豊浦 久子			
S58年卒	金井 和則			
H10年卒	斉藤 雅実	玉手箱展	12月12日(水)～12月17日(月)	くさ笛 (中区)
S51年卒	堀江 忠史	美術展櫛	12月18日(火)～12月24日(月)	愛知県美術館 (東区)
H14年卒	笠井 麻衣子	シェル美術賞アーティスト・セレクション	12月12日(水)～12月24日(月)	国立新美術館 (東京都)
S48年卒	岩井 勝	クリエイターの自画像展	12月18日(火)～12月23日(日)	セトラルアートギャラリー (東区)
S36年卒	勝崎 芳雄	愛工デザイン展2013講評会	12月22日(土)	愛知県美術館 (東区)
S47年卒	中野 則秀			
S48年卒	三浦 均			
S53年卒	三輪 日出雄			
S55年卒	大竹 富広			
S56年卒	枝川 英夫			
S63年卒	塚本 達也			
H14年卒	笠井 麻衣子			
H16年卒	坂野 麻利央			
H14年卒	笠井 麻衣子	carre2013	1月11日(金)～1月27日(日)	ギャラリー一点 (金沢市)
S51年卒	堀江 忠史	If EXHIBITION	1月16日(水)～1月20日(日)	愛知県美術館 (東区)
S28年卒	中嶋 俊一	水彩協会展	1月16日(水)～1月20日(日)	愛知県美術館 (中区)
S26年卒	梅原 博			
S26年卒	須田 敏夫			
S45年卒	安達 智行			
S54年卒	天野 登功広			
S34年卒	児島 二三男	創春会展	1月16日(水)～1月25日(金)	ギャラリー彩 (中区)
S60年卒	吉田 朋子	吉田朋子個展	1月21日(月)～1月26日(土)	檜画廊 (東京都)
S54年卒	町田 成行	新春百面相展	1月22日(火)～1月27日(日)	セントラルアートギャラリー (東区)
S56年卒	枝川 英夫			
S37年卒	古田 好孝	日展	1月25日(金)～2月11日(月)	愛知県美術館 (東区)
S48年卒	三浦 均	どうぶつは地球かぞく	1月23日(水)～1月27日(日)	銀座かねまつホール (東京都)
H14年卒	山内 千香子	萌ゆる春～haru～展	2月2日(土)～3月3日(日)	ギャラリーもゆ (瀬戸市)
S53年卒	三輪 日出雄	カーレングラフィック講習会	2月13日(水)	愛知工業高校 (北区)
S51年卒	堀江 忠史	Textile Exhibition 2013	2月18日(月)～2月23日(土)	画廊るたん (東京都)
S39年卒	吉田 稔	トヨタ自動車デザイナー作品展	2月18日(月)～3月10日(日)	蔵の中ギャラリー (豊田市)
H05年卒	川上 絵美	陶のまち瀬戸のお雛めぐり	2月22日(金)～3月3日(日)	あとリエカノン (瀬戸市)
H03年卒	世古口 幸美	石川の工芸で飾る春スタイル展	2月27日(水)～3月5日(火)	日本橋三越本店インテリアステージ (東京都)
S63年卒	桑原 聖美	ATR SESSION 2013	3月5日(火)～3月10日(日)	愛知県美術館 (東区)
S48年卒	三浦 均	やさしいハンカチ展	3月20日(水)～3月25日(月)	国際デザインセンターギャラリー (中区)
S51年卒	堀江 忠史	who's who ART2013展	3月16日(土)～3月25日(月)	ギャラリー石彫 (高砂市)
H19年卒	水野 詩織	演劇組織KIMYO公演	4月6日(土)～4月8日(月)	愛知芸文小ホール (東区)
S48年卒	明知 宏	白日展	4月9日(火)～4月14日(日)	愛知県美術館 (東区)
S48年卒	三浦 均	2013国際交流展	4月17日(水)～4月23日(火)	IANGギャラリー (韓国ソウル)
H10年卒	斉藤 雅実	物語のはじまり	4月23日(火)～4月28日(日)	パードックギャラリー (東京都)
S45年卒	安達 智行	水彩連盟展	4月24日(水)～4月29日(月)	愛知県美術館 (東区)
S52年卒	中神 京子			
S59年卒	樋口 佳代	白砂会作品展	4月30日(火)～5月5日(日)	サンシティギャラリー (中区)
H09年卒	伊藤 理絵			
S53年卒	三輪 日出雄	ギャラリーdeお花見	4月30日(火)～5月12日(日)	ギャラリーCHIYODA (中区)
H03年卒	奥田 祐			
H06年卒	山本 暁子			
S26年卒	須田 敏夫	ノアール展	5月14日(火)～5月19日(日)	愛知県美術館 (東区)
S37年卒	古田 好孝	日本現代工芸美術展	5月14日(火)～5月19日(日)	愛知県美術館 (東区)
S58年卒	松岡 正記	モデラーズクラブ合同作品展	5月18日(土)～5月19日(日)	ツインメッセ静岡 (静岡市)
S29年卒	中村 郁夫	オランダ・ベルギースケッチ旅行作品展	5月21日(火)～5月26日(日)	犬山市図書館 (犬山市)
S26年卒	須田 敏夫	版画伍人展	5月28日(火)～6月2日(日)	愛知県美術館 (東区)
S60年卒	高木 幸子	草仏展	6月11日(火)～6月16日(日)	名古屋博物館 (瑞穂区)
H14年卒	笠井 麻衣子	Summer Group Show 2013	6月13日(土)～8月10日(土)	YUKA TSURUNO GALLERY (東京都)
H03年卒	中嶋 裕美	ピコット～手づくりマルシェ～	6月23日(日)	大阪富士屋ホテル (大阪市)
S28年卒	中嶋 俊一	中部クリエイターズクラブ展	6月26日(水)～7月1日(月)	国際デザインセンター (中区)
S29年卒	中村 郁夫	光陵展	7月2日(火)～7月7日(日)	愛知県美術館 (東区)
S41年卒	鏡味 光子	創作ピンホールカメラとその写真展	7月3日(水)～7月8日(月)	国際デザインセンター (中区)
S48年卒	三浦 均	釜山国際デザイン祭	7月8日(月)～7月14日(日)	釜山市庁 (韓国釜山)
S48年卒	三浦 均	2013国際交流展	7月11日(水)～7月18日(木)	韓国文化院 (パリ)
H14年卒	笠井 麻衣子	アートがあればII	7月13日(土)～9月23日(月)	東京オペラシティギャラリー (東京都)
S51年卒	堀江 忠史	染織造形展	7月29日(月)～8月3日(土)	ガレリアフィナルテ (中区)
S55年卒	荒木 淳子	2013ひつじ堂作品展	7月31日(水)～8月7日(火)	セントラルギャラリー (東区)
S48年卒	三浦 均	LOVE&PEACE2013	8月6日(火)～8月11日(日)	名古屋市民ギャラリー栄 (中区)
S55年卒	荒木 淳子	ひつじ堂あらかじゅんこの世界展	8月10日(土)～9月1日(日)	蔵の中ギャラリー (足助町)

S48年卒	三浦 均	みんな怪獣が描きたい展	8月13日(火)～9月1日(日)	高浜市かわら美術館 (高浜市)
H14年卒	笠井 麻衣子	Neighbor's Garden	8月24日(土)～9月21日(土)	YUKA TSURUNO GALLERY (東京都)
H20年卒	水野 詩織	演劇「時代横町」	8月29日(木)～9月8日(日)	損保ジャパン人形劇場 (東京都)
H03年卒	奥田 祐	自由きままに・・・展	9月9日(月)～9月28日(土)	Gallery Bar TORIDE (中区)
H05年卒	川上 絵美	ねこ展	9月28日(土)～10月4日(金)	アトリエカノン (瀬戸市)
S48年卒	三浦 均	知多の酒のイメージポスターとオリジナルデザイン展	10月1日(火)～10月6日(日)	セントラルアートギャラリー (東区)
S48年卒	三浦 均	伊勢和紙掛け軸展	10月12日(土)～10月20日(日)	おかげ横丁大黒ホール (伊勢市)
S48年卒	三浦 均	知多の酒のイメージポスターとオリジナルデザイン展	10月18日(金)～11月17日(日)	國盛酒の文化館 (半田市)

■『新春クロッキー講習会』 西村 知弘〔旧職員〕

ギャラリーCHIYODA さんのご厚意により実現しました。在学中にはデッサンの実習の中で、クロッキー演習を僅かながら経験しているものの、本格的な裸婦モデルをお願いしての挑戦ははじめての人が多くと考えて、有志で開催に踏み切りました。

3回(H25.1/26・2/10・3/24)の完結型で実施した。

初回では外国人モデルとなり、緊張気味でなかなか鉛筆が動かなかったことが思い出されます。2回目からは、最初のワンポーズが手慣らしでしたが、約10分毎にポーズを変えていただいても、だんだん鉛筆の軽やかな動きに成長して行きました。モデルさんの休憩時には、お互いのクロッキーを見せ合いながらの和やかな新たな交流を深めることが出来ました。

毎回2時間の挑戦は、軽い疲労感が心地良い刺激になり、先輩後輩の分け隔ても無く、終了後はティータイムへと流れていった。

そんな勢いで、7月21日(日)にはバレリーナーの衣裳でのクロッキーに挑戦し、今後も継続して行きたいと思えます。



■『ヌードクロッキー会に参加しました』

柳沼 恵〔H21〕

参加者が輪になってモデルの女性をぐるりと囲んで、約10分で1ポーズを描きます。初めてのヌードクロッキー、それに加えて面識のない先輩たちに囲まれて・・・という状況で、とても緊張していました。いざ始まってしまえばそんな余裕もなく、与えられた数分間では描ききるところか形すらとれず当初は悪戦苦闘でした。

それでも、枚数を重ねるにつれ、だんだんと線に迷いも減り、なんとか形に出来るようになってきました。うまく出来なくても描いている最中はとても楽しかったです。モデルさんの裸を前にしてドキドキするかもと想像していたのですが、温泉でほかの女性の裸をみてもなんとも思わないのと同じで特にいやらしさなど感じることはなく、女性の身体は神秘的で美しいなあと惚れ惚れしました・・・

2時間にも満たないクロッキー会だったのですが、描き

終わった後は疲労感に襲われ、短時間とはいえ集中してなにかを見て描くという行為はこれほどまでに疲れることだったかな・・・とぐったりとしてしまいました。社会人になってしまうとなかなかこういうチャンスは少なくなるので、良い経験をさせて頂けました。また次回を楽しみにしています。



■『純心な童心』

佐野 隆之〔H3〕



今回の『裸婦クロッキー会』に参加して、私にもたらしてくれたものについて率直にお話したいと思います。

それは『純心な童心』ではないかなあと思いました。私は物心ついた頃から絵を書くのが好きで、愛工高に入るまでは家にあったノートに色々な絵を描いていました。義務教育期間での図画工作/美術の時間は大好きでしたし、アニメやマンガも当時の非力なコンピューターでも描いたりしていました。しかし、親と先生方の指導によりデザイン科へと入った頃から、絵を描くことが次第に嫌いになってしまいました。その後の就職先での職務で描くことがあり、配属部署の支店長から“趣味と実益が兼ねられていいなあ”と言われた事がありました。趣味ではなく仕事で仕方なく描いているのだ！と胸の奥で言った記憶があります。

そんな私が付き合い半分で参加したクロッキー会で、純粋に絵を描くことの楽しさを思い出させてくれました。お金のため生きるための技術としてではなく、純粋な絵を描くことの楽しみ・・・

そして、この流れが偶然か何か分かりませんが、今年の2013年にプレ・アドバ展として「on/off」展開催の話が舞い込みました。そこへ自分が出展するために、何か描こうかなあ？という気持ちが自然に湧き起こりました。そのきっかけが『裸婦クロッキー会』での私に、もたらしてくれたことが潜んでいました。



「写真部始めました。」

平成3年卒業の奥田です。

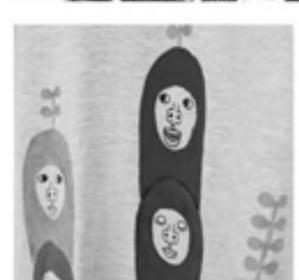
ホシザキ電機という会社で業務用厨房機器の製品デザインに携わっています。

趣味は・・・ビール・・・も大好きですが、そう！最近写真を始めたのです！と言っても過去に一眼レフカメラは何台か購入し、たまに気が向いた時には夕焼けとかパシヤパシヤ撮影していました。

今回写真部まで立ち上げた、きっかけとなったのは後輩の素晴らしい写真を見てからです。まるでポップアートのように色彩豊かでその場所、時間を切り取った空気感がビビッと伝わってきました。それからまたカメラってやっぱり楽しいかと再認識しFacebookにて写真部を立ち上げました。スマホのカメラも美しく手軽ですが、たまには首からカメラをぶら下げてお散歩感覚で自分の生まれた町を散策するもの新しい発見があってお勧めです。カメラを持って歩くと心のフォーカスポイントが変わります。すると今まで普通に見ていた何気ない風景が全然違う風景に映りハタと気付くのです。僕にとってカメラはそんな心のフォーカスチェンジを働かせるツールでもあります。オンオフの切り替えや仕事で煮詰まった時のリフレッシュツールです。

掲載の写真は夏に写真部のメンバーで覚王山夏祭りへ撮影してきた物です。撮影後のビールの旨い事、旨い事・・・楽しい仲間との一杯が一番のリフレッシュツールかも知れませんが。。興味のある方はFacebook覗いてみてください。

平成3年卒 奥田 祐



■『近況報告』



林 実可 [H25]

3月の終わりから、商品企画として綿を扱う会社に就職しました。私の主な仕事内容は新しい商品の企画、すでに存在する商品を新しく展開していく事ですが、その他にもちょっとしたデザインや事務のお手伝いなどを行っています。最近、自社商品である「コットンパール」を使ってアクセサリーをデザインしながらつくっています。

使う人を第一として制作しつつ、斬新さも忘れない、そんなものをつくりたいと思いながら楽しくやっています。また、パソコンを少し使えることからできた仕事もあります。ちょっとしたパンフレットを制作したり、商品に貼るシールをつくりかえたり、写真を加工したり、学生のときに習ったことが活かされていると感じます。

常に変化を求めている会社なので、日々違う仕事が増えてきますが、いろいろなことに挑戦することが好きな私にはとても合っているようで、毎日楽しく仕事をさせてもらっています。自分で考えた商品が市場に出て、い

ろいろな人に喜んでもらうことが今の私の目標です。その目標をもとに、これからも頑張っていこうと思っています。

■『近況報告』 横山 更紗 [H25]

私は今『札幌かに本家』という会社で接客店員として働いています。接客の仕事は“美味しいお料理を美味しく召し上がって頂くための、お手伝いをする仕事です”と言うことを一番最初に教えて頂きました。

それが、とても難しくて大変な仕事だと言うことを身を持って実感しました。例えばコース料理などは、料理を一品ずつ順番にお客様のペースに合わせて提供しなければいけません・・・そのタイミングがとても難しいです。温かいお料理は出来たてを召し上がって頂きたいので、調理場に作って貰うようにお願いします。出来上がった直ぐにお客様にお出しするのですが、その調理時間とお客様の食べるスピードを考慮しなければいけないので、本当に難しいのです。他にも、お客様から言われる前に必要そうなものを考えて持って行ったり、お客様とのコミュニケーションをとりつつ不自由なく寛いで頂くためには、どんなことをしたら良いのか、と言うことを常に考えて行動しなければならぬ仕事なのです。大変ですけど、とても遣り甲斐のある楽しい仕事だと思っています。職場の先輩方も綺麗で優しい方ばかりで、とても環境に恵まれています。やはり、お客様第一の仕事なので、私自身の時間がなかったり、少し不規則な生活にもなりますが、毎日がとても充実していると思います。今は、この会社に就職出来て本当に良かったと心の底から思います。

■『37DS 同窓会』 二宮 泰成 [S37]

古希を迎え「光陰やのごとし」を痛感する。と幹事/大知君の挨拶で始まりました。今回は、東京組との日程折り合いが悪かったので、参加者が少なく昼食会のような短い時間でした。紅顔の面影を偲ばせての会話が弾み、楽しいひとときでした。“時は戻るんですね、みんなに会えば・・・”



■学校だより

- 平成 25 年度各種コンクール表彰一覧
- ◆第 28 回全国高等学校インテリアデザイン展
(株)日本インテリアデザイン協会理事長賞
3年 田中 美唄
大川商工会議所会等賞 …… 3年 山本紗也奈
- ◆第 13 回全国高等学校ファッションデザイン選手権
(愛知県代表) 全国準優勝 …… 3年 日沖 翔一
3年 東 美花
3年 田中 美唄
- ◆第 4 回オールジャパン高校生ファッションデザイン
コンテスト
佳作 …… 3年 東 美花
3年 田中 美唄

- ◆第 14 回高校生国際美術展
美術の部 奨励賞 …… 3年 中野恵梨子
感謝状 愛知県立愛知工業高等学校
- ◆第 63 回学展 高校部・油絵部門
入賞 …… 3年 加藤 雅子
- ◆第 14 回ゆわ・フェスタ 41 ポスター採用
3年 大原 直弥
- ◆平成 25 年度明るい選挙ポスター
名古屋市銀賞 …… 3年 羽田野亜友美
名古屋市北区優秀賞 …… 3年 羽田野亜友美
名古屋市北区佳作 …… 2年 石井 翔太
2年 佐伯菜々子
- ◆第 2 回トライデントいすデザインコンテスト
金賞 …… 2年 渡辺このか
奨励賞 …… 2年 田中 栞
入選 …… 2年 三宅 海月
佳作 …… 2年 加藤 千明
2年 清水 比奈
2年 田川 千夏
2年 山内 真歩
学校賞 …… 愛知県立愛知工業高等学校
- ◆第 63 回 北区美術展
洋画部門 区長賞 …… 2年 東川 夢夏
彫刻・立体部門 中日新聞社賞
2年 安藤 里紗
- ◆平成 25 年度愛知県エイズ予防強化週間
ポスターコンクール 3 席 …… 2年 鳥越 鈴夏
- ◆平成 25 年度エイズ教育推進ポスター
採用作品 …… 2年 宮内 もも
- ◆高校生ファッションデザイン画コンテスト
(大阪成蹊短期大学生活デザインコース主催)
優秀賞 …… 3年 田中 美唄

●体育祭

◆体育祭順位表

部門	順位	優勝	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
競 技		電子機械	電 気	デザイン	化学工業	情報技術	建 設
マスコット		デザイン	電子機械	化学工業	建 設	電 気	情報技術
仮 装		デザイン	化学工業	建 設	情報技術	電子機械	電 気
応 援		デザイン	電 気	化学工業	電子機械	情報技術	建 設
総 合		デザイン	電子機械 化学工業		電 気	建 設	情報技術

☆応援は昭和 62 年以来 26 年ぶりの優勝で、競技を除く 3 部門で優勝でき、平成 23 年度に続き 2 年ぶりの総合優勝になりました。



◆平成24年12月22日(土)に愛知県美術館ギャラリーにて、アドバ大賞及びアドバ賞/奨励賞の選定を会場で行い、賞の発表と各講師による講評をして頂きました。

★アドバ大賞	ベーシックデザインコース	山口みのり
☆アドバ賞	グラフィックデザインコース	小川 侑美
	プロダクトデザインコース	坂本 巖
	クリエイティブデザインコース	林 実可
	ベーシックデザインコース	坂本 夕起
☆奨励賞	建築模型(展望台)	田中 美唄
	環境を考えるポスター	廣瀬 真理
	油彩(静物画)	奥田 まい
	ウッドワーク(椅子の制作)	小嶋 双葉

なお、愛工デザイン展2014の講評会は、平成25年12月14日(土)愛知県美術館ギャラリー8階で実施予定です。午前10時より開講式を行ない、各コース・作品ごとに講評後に各賞の選定と発表が行われます。



●アドバ入会式

◆平成25年2月29日(木)愛知工業高校/デザイン科内にてアドバ大賞及びアドバ賞の授与が行なわれ、平成24年度卒業生のアドバ世話役2名が紹介されました。なお、平成25年度のアドバ入会式は、平成26年2月27日(木)の予定です。



●アドバ理事会

◆平成25年6月8日(土)国際デザインセンタービル7Fデザインラボにて、アドバ事業・会計報告/計画案及び役員変更とアドバ展企画の提案などを審議し承認されました。



◆アドバ『on/off』展(H25.10.16~11.3)を中嶋孝之〔H3〕さん達、若手有志により開催しました。懸案である《アドバ展》復活に向けて皆さんと共に総力結集しましょう！



お世話になった「ギャラリー-CHIYODA」[052-262-0288]のオーナー前田(中川)由香子〔H11〕さんに感謝！

●ざぼら会

◆平成9年から恒例になっているグルメ忘年会「ズボラカイ in 日間賀島」を今年も計画(H25.12.14~15)しています。アドバの海鮮食通の有志は、グッドコミュニケーションに参加しましょう！



●その他

◆訃報:永井盛雄[S37卒]さんがH24.11に逝去されました。

●切迫した収支状況にあるアドバの維持財源である、年会費(¥3,000)の納付に、ご理解を！！

郵便振込口座番号：00860-9-11770 アドバ

今年度の納付金合計額は、¥466,000(～9/25)です。皆さん宛に「アドバ会報」などDM1630通を、学校の協を得て送付。有志によりアドバの維持活動を行っています。

■編集後記：各分野で活躍されている様子が伺えるアドバ若手の皆さんの投稿が増え同慶の至りです。相変わらず日程に追われ、執筆者の了解を得ずに添削・割愛して編集させて頂きました…ご協力に感謝。《井上》